

平成 31 年度事業報告書

テーマ：医療・介護・福祉ネットワークの連携を図り、心身機能の自立支援と安心ある暮らしの地域交流を目指す

サブテーマ：住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、自立支援を目指し、多職種との密な連携を図る

（訪問介護）あじさい園ホームヘルパーステーション

1. 住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるよう支援する

自分らしい生活を送れるよう一人ひとりに寄り添い、自立に向けての支援、サービスの提供

ケアプランに基づき支援を行っていく中、ご利用者の出来る事に着目し、ご利用者の言葉や家族・地域住民等から情報を得て、ケアマネに発信、その人らしい自立支援サービスの提供ができた。

訪問介護計画書の見直しや検討会は、個々に合った自立を促すサービスの提供ができた

満足度アンケートより、家族の介護不安やストレス、職員に対する思いを知る事で、出来る限り要望に応え、支援内容の見直しや職員一人ひとりの接遇状況などの振り返りが出来た。

2. 各職員の質の向上を図り情報発信力を高める

家族・ケアマネ・地域と密な連携を図り、利用者との信頼関係を強化する

日々の状態変化を、訪問時の小さな気づきとして多職種や地域と密な連携を図り、ニーズや問題点などをケアマネに発信する事で、チームケアに活かすことが出来た。

迅速な報・連・相の徹底や情報共有は、どの職員が担当してもケアの質が低下しない様に、統一したケアの提供が図れた。

日頃から地域住民の方々への挨拶、笑顔を忘れず、丁寧な言葉がけを行い、信頼関係を築き、特に独居の方と地域の人を交えた支援体制が構築できた。

アセスメントにて出来る部分を活かし、個々に合ったサービスを提供。心身機能の維持・継続が図れた。

人員不足の為、外部研修参加は困難でしたが、出来る限り内部研修参加、スキルアップを図った。

ミーティングにて、ひとり一人の必要なケアの見直しや改善・焦点に合った支援を確認、また業務の見直しを行う事で無理、無駄のない業務体制を図った。

3. 介護タクシー事業、ならびに総合事業の継続

在宅介護の利便性向上に努める

ご利用者の環境や状態に応じて、居宅介護支援事業者からの依頼をより、急な受診、入退院時の対応などタクシー利用より、受診中の付き添いや、買物、散髪等、柔軟に対応する事ができた。

坂井市の総合事業（訪問型サービス）は、継続してサービス提供に努めた。